

日本産蘭科植物分布図 (六十九)

正宗巖敬・里見信生

MASAMUNE, G. & N. SATOMI : Distribution Maps of
Orchidaceae in Japan (69)

ホザキイチョウラン *Microstylis monophyllos* (LINDL.) LINDL. — *Ophrys monophyllos* LINN. — *Malaxis monophyllos* (LINN.) SW. — *Microstylis diphylla* LINDL. — *Acroanthes monophylla* (LINN.) GREENE — *Liparis inconspicua* MAKINO の分布を図示した。本図でみられるように、本州の中部地方の亜高山帯・高山帯に産地が多く、分布の中心のように見えるが、本種は周亜寒帯要素で、北半球の亜寒帯・温帯北部に広く分布する。四国の石鎚山は西南限産地となり、分布の上で重要である。

東北地方の山形・宮城県などに産地が知られていないことは不思議である。しかし、アオチドリ・イチョウランにおいても、同様の事実があり、何か考究すべき問題があることを暗示しているように思われるが、如何であろうか。ホザキフタバ

● ホザキイチョウラン *Microstylis monophyllos*, ■ ホザキフタバラン *Microstylis monophyllos* form. *diphyllus*



ン form. *diphyllus* MAKINO et NEMOTOは葉を2個持つもので、母種の分布地の中に点々と所在するし、また、同一の場所に両者が見られることもあり、栄養のよい株にあらわれる型である可能性が考えられる。